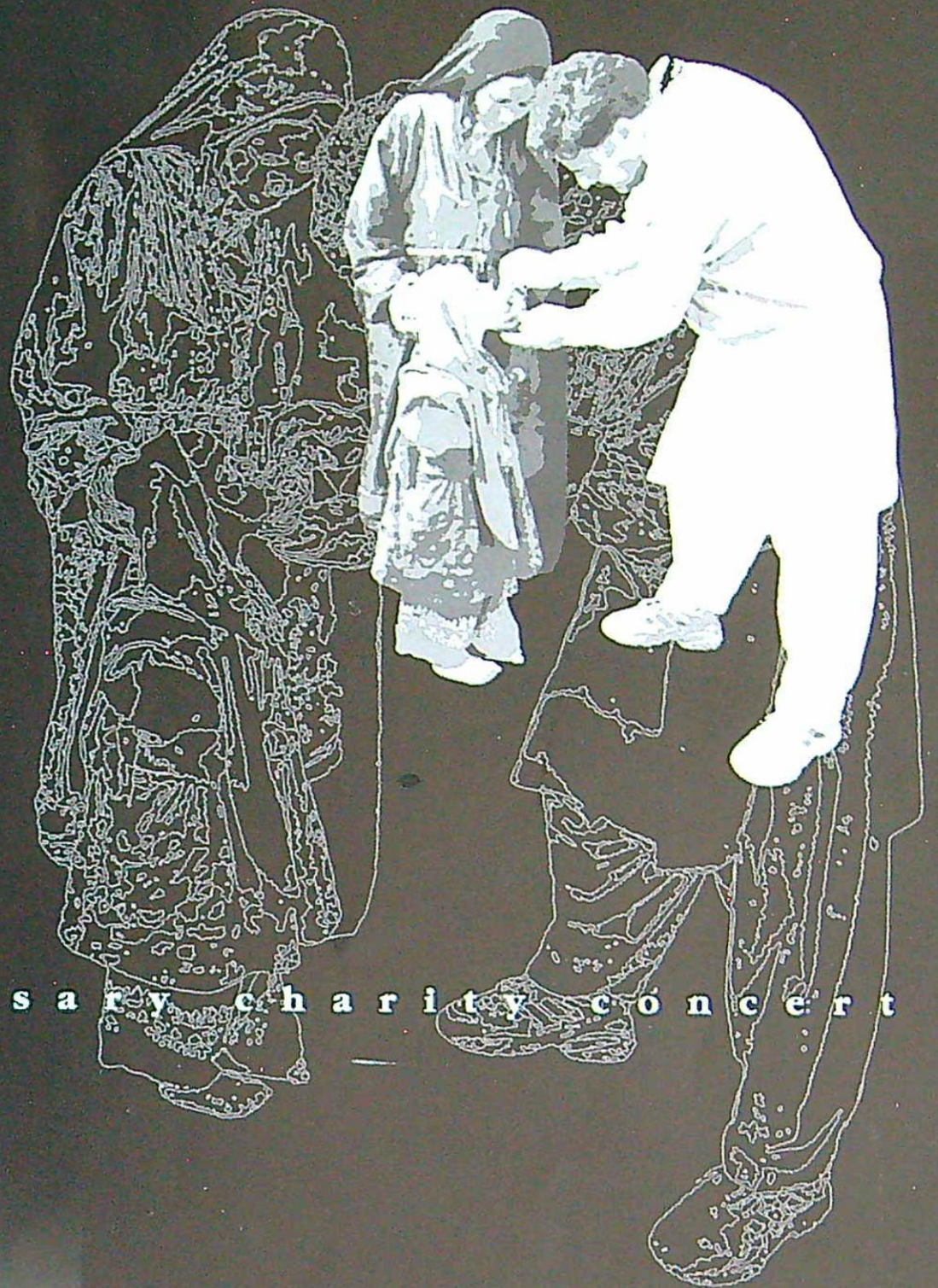
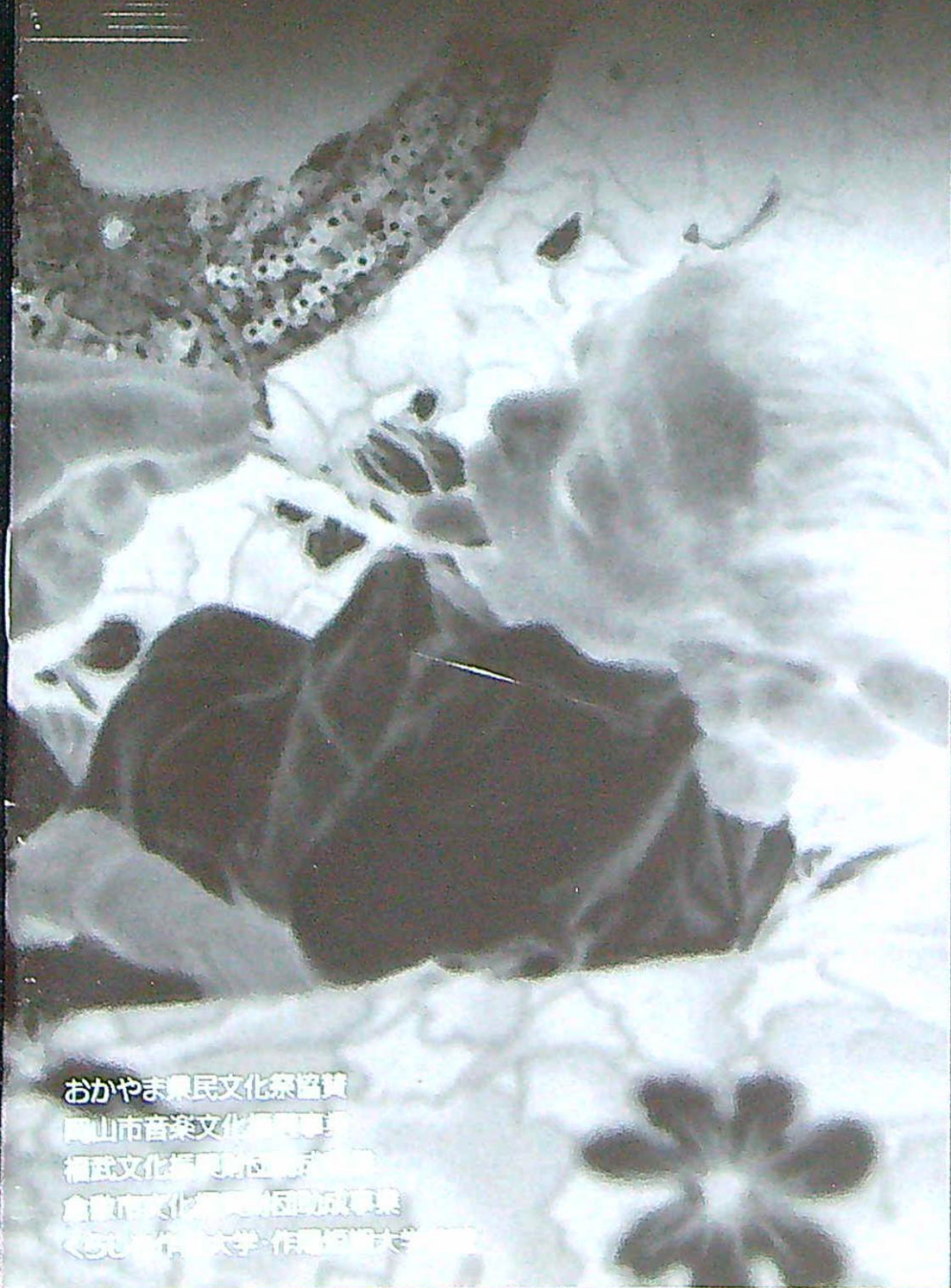


山陽放送創立50周年記念チャリティーコンサート

救え! 戦場の 子どもたち



RSK 50th anniversary charity concert



おかやま県民文化祭協賛
岡山市音楽文化振興事業
福成文化振興財団協賛
倉敷市文化振興財団協賛
くまもと大学・作楽短期大学

50 RSK
創立50周年

ごあいさつ

本日は、山陽放送創立50周年を記念したチャリティーコンサート「岡山からのメッセージ・救え!戦場のこどもたち」にご来場いただき、誠にありがとうございます。当社は、1953年(昭和28年)4月、エリアで初めての民間放送ラジオ局として産声を上げました。社員数僅か17名、太平洋戦争の空襲で天井に穴があいたままの仮事務所からRSKの歴史が始まりました。以来、半世紀にわたりお支え下さった地域の方々をはじめ、関係各位に対しまして、心からお礼を申し上げます。

この50年の歴史に感謝を込め、私たちは“夢”と“家族”をテーマとして、11月14日から3日間「RSK夢ラジオ」を実施しております。そのメインイベントのひとつが、本日のチャリティーコンサートです。2日間にわたってお届けするステージは、世界を舞台に活動を続ける岡山ゆかりの音楽家が一堂に会するもので、各国際コンクールの上位入賞者が並び、まさに“夢の競演”といえる演奏会です。

今回ご出演いただく錚々たる顔ぶれのアーティストたちは、「世界中で起きる戦争やテロの犠牲になって苦しむ子どもたちを救いたい」という思いに賛同し、岡山シンフォニーホールに駆けつけて下さいました。世界的音楽家の競演あり、プロとアマチュアとの交流演奏あり、和楽器とのコラボレーションありと、次から次へバラエティー豊かなステージが繰り広げられます。どうか、心ゆくまでお楽しみ下さい。そして、「救え!戦場のこどもたち」の主旨にご理解とご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

最後になりましたが、コンサートを開催するにあたりご支援賜りました岡山県、岡山市、倉敷市、そして福武文化振興財団をはじめ関係各位、またご多忙にもかかわらず出演をご快諾くださった音楽家、団体の皆様方に衷心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

山陽放送株式会社 代表取締役社長 大倉徹彦

山陽放送創立50周年記念の豪華な演奏会の開催おめでとうございます。

岡山県出身と岡山ゆかりの人々がこぞって出演する機会を作っていただいたことは大変喜ばしいことです。この演奏会が、戦争で痛めつけられた世界各地の子供たちを救うための寄金に結びついての催しであることは、さらに意義深いことで嬉しく思います。

初顔合わせの人とアンサンブルの練習時に岡山弁をしゃべりつつ準備をしてきました。

岡山空襲で、小橋町にあった私の家も丸焼けになりました。今では街並みもすっかり新しくなりましたが、岡山に帰ると当時の懐かしさ思い出されます。平和であるからこそ、私たちが音楽に邁進できるのです。クラシック音楽を生放送で、しかも長時間放送して下さることは今までにない経験で、関係者の皆様のご好意に心から感謝します。そして、山陽放送の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

岩崎 淑

山陽放送50周年記念行事として、チャリティーコンサートが開催されますこと、大変素晴らしいことと思っております。

今年公開された実話を基にした映画「戦場のピアニスト」を観て、主人公のユダヤ人ピアニスト、シュピルマンがどんなに辛い時でも音楽を忘れず、いつの日か又ピアノが弾ける時が来る、と信じながら必死に生きていく姿に強い感動を受けました。そしてドイツ将校が彼の弾くショパン演奏に心を動かされ、パンと自分のコートを与えるというシーン、音楽には国境も敵味方をも越えて、心と心を結びつける力があるのだと改めて感じさせられました。地球のいたるところで、戦争、貧困、飢えが堪えない今日、音楽が大きな懸け橋となり、世界の平和が早く訪れることを望みます。

岩崎 洸

地元の強い味方RSKの開局50周年、心よりおよろこび申し上げます。今回のコンサート、戦場の子供達に救いの手を差し伸べるといふチャリティー運動に微力ながら、お手伝い出来ますことを大変嬉しく思っております。

ヨーロッパに住んでおりますと、戦争に関する報道が日本より多くまた大きく報道されていることが分かります。今回一人でも多くの日本の方に、人ごとではないということを感じて頂けるために、大変良いチャンスだと思っております。私も平和を祈り、今日のために何度とない練習を重ねてまいりました。どうぞ今宵のプログラム、是非お楽しみ頂ければ幸いです。

横山恵子

山陽放送創立50周年おめでとうございます。

この度の演奏会ではグリムカ、プロコフィエフ、チャイコフスキーと大好きなロシアの作品を演奏させていただくこととなりました。ピアノは大好きな曲を好きなときに弾くのが一番楽しいですねえ。好きな曲だと弾いていても聞いていても、疲れもふつとんで元気が出てきます。それはどんな健康食品を食べるよりも効果的です。そういえば日本酒を造るのに音楽を聞かせると味が良くなるという話を聞いたことがあります。音楽を欲しているのは人間だけではないんですねえ。(弾き終わってから日本酒が飲みたいという話ではありません…)

というわけでよろしく願いいたします。

有森 博

このコンサートのお話をいただいたのはいつだったのだろうか。最初はその凄さに気づいていなかった。しかし、考えれば考えるほど、そしてまわりの話を聞けば聞くほど、これが前代未聞の、そしてこれからもきっとありえないであろう素晴らしいコンサートなのだということが分かってきた。実際、岡山県出身の豪華な顔ぶれを、これだけひとつのコンサートに集めるのは、並大抵のことではない。そのメンバーの端に名を連ねさせていただいたことは、僕にとって望外の幸せだ。また高校生の頃から何度もお世話になっている山陽放送さんの企画にこのような形で恩返しができるのも、非常に嬉しい。音楽自体は何も力がないものなのだが、それを通して世界の苦しんでいる子供たちを救えるということに、とても意義を感じている。

松本和将

豪華で意義のあるこのコンサートで演奏が出来ますことを嬉しく思っています。私の演奏が苦しむ子供たちの救済につながれば望外の幸せです。世界中で、戦争によって多くの子供たちが苦しんでいます。楽観できない状況があります。私たちが出来ることから、子供たちの救済を実行していきましょう。

アナスタシア・チェボタリョーフ

一昨年の9・11同時多発テロ、アフガニスタン、イラクと続く中で、私は歌手として、こんなときにどんなうたをうたえばよいのかと、途方にくれました。うたうことによって戦争を止めることができれば、と願いながら、無力さを痛感する毎日です。しかし、こんなときこそうたわなければ、との思いから、今回のチャリティーに参加することにしました。絶望の中にいる戦場のこどもたちが、一日も早く希望の光を見出せるように、祈りながら、みなさんといっしょにうたを分かち合いたいです。「やさしいうたは世界を変える。」(《小さな恋のうた》より)

沢 知恵

第1部 (15日・17:00～)

救え!戦場のこどもたち

(曲が変更になる場合があります)

① 沢 知 恵

Amazing Grace (John Newton:詩/Virginian Melody)

死んだ男の残したものは (谷川俊太郎:詩/武満 徹:曲)

満月の夕 (中川 洋、中川 敬:詩・曲)

一本の鉛筆 (松山善三:詩/佐藤勝:曲)

こころ (キム・ドンミョン:詩/キム・ソウン:訳/沢知恵:曲)

小さな恋のうた (上江洲清:詩/モンゴル800:曲)

あなたがいてわたしがいる (山陽放送イメージソング 沢知恵:詩・曲)

.....《休憩》.....

② アナスタシア・チェボタリョーフ (ヴァイオリン) ◆ 岩 崎 淑 (ピアノ)

ドヴォルザーク ● 4つのロマンティックな小品 作品75,B150

サラサーテ ● カルメン幻想曲 作品25

.....

③ アナスタシア・チェボタリョーフ (ヴァイオリン) ◆ 倉敷アカデミー・アンサンブル

バッハ ● 主よ、人の望みの喜びよ カンタータ[心と口と行いと命もて]BWV147より

モーツァルト ● ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調K.219 トルコ風

.....《休憩》.....

④ ピアノ連弾

岩 崎 淑 ◆ 新 谷 祐 子

ビゼー ● 子供の遊び 作品22より

こま 木馬たち すみ取り鬼ごっこ 舞踏会

ブラームス ● ハンガリー舞曲集より

第1番・ト短調 第8番・イ短調 第5番・嬰へ短調

グリーグ ● ペールギュント組曲 第1番 作品46より

朝 アニトラの踊り 山の魔王の宮殿にて

.....

⑤ 岩 崎 淑 (ピアノ) ◆ 黒 川 侑 (ヴァイオリン)

サン＝サーンス ● 序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28

ラヴェル ● ツイガーヌ(演奏会用狂詩曲)

.....

⑥ 岩 崎 洸 (チェロ) ◆ 岩 崎 淑 (ピアノ)

シューベルト ● アルペジオーネ・ソナタ イ短調D.821

第2部 (16日・14:00~17:00)

救え!戦場のこどもたち

① 守屋 剛志 (ヴァイオリン) ◆ 岡山市ジュニア・オーケストラ

- モーツァルト ● 歌劇 劇場支配人 K.486 序曲
- モーツァルト ● ヴァイオリン協奏曲 第3番ト長調K.216
- シュトラウスⅡ世 ● ワルツ 春の声 作品410

② 桃太郎少年合唱団

- 夏の思いで (江間章子:詩/中田喜直:曲)
- ふるさと (高野辰之:詩/岡野貞一:曲)
- 烏かもねん勘三郎 (広島地方わらべ歌/間宮芳生:曲)
- モルダウ (平井多美子:詩/スメタナ:曲/石術真礼生:編曲)
- 今 始まる (門倉 諒:詩/吉岡弘行:曲)
- 美しく青きドナウ (中山知子:詩/シュトラウスⅡ世:曲)

③ 岡フィル・弦楽アンサンブル 《映画の中の名曲たち》

- ヴァイヴァルディ ● ヴァイオリン協奏曲 四季 作品8より春 第1楽章 (007美しき獲物たち)
- マスカーニ ● 歌劇 カヴァレリア・ルスティカーナより 間奏曲 (ゴッドファーザーⅢ)
- シュトラウスⅡ世 ● 皇帝円舞曲 作品437 (ラストエンペラー)
- オフエンバック ● 歌劇 ホフマン物語より ホフマンの舟唄 (ライフ・イズ・ビューティフル)
- バッハ ● 2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調BWV1043より第2楽章 (愛は静けさのなかに)

.....《休憩》.....

④ 田辺 洌山 (尺八) ◆ 倉敷アカデミー・アンサンブル 《和楽器と弦楽器のコラボレーション》

- 諸井 誠 ● 竹籟5章より 明暗
- チャイコフスキー ● 弦楽セレナード ハ長調 作品48より 第2楽章 ワルツ
- バッハ ● 管弦楽組曲第3番BWV1068より第2曲 G線上のアリア
- ヴァイヴァルディ ● ヴァイオリン協奏曲 四季 作品8より冬 第2楽章
- グルック ● 歌劇 オルフェオとエウリディーチェより 精霊の踊り
- ピアソラ ● リベルタンゴ

⑤ 岩崎 洸 (チェロ) ◆ 岩崎 淑 (ピアノ)

- バガニーニ ● ロッシーニの主題による変奏曲
- ウェーバー ● アダージョとロンド
- フォーレ ● 夢のあとに 作品7-1
- ショパン ● 序奏と華麗なるポロネーズ ハ長調 作品3

第3部 (16日・18:00~21:00)

救え!戦場のこどもたち

①松本和将 (ピアノ)

- ショパン●ポロネーズ第6番 変イ長調 作品53 英雄
 - ショパン●ノクターン 第14番 嬰へ短調 作品48-2
 - リスト●メフィスト・ワルツ 第1番 S.514
-

②有森 博 (ピアノ)

- グリンカ/バラキレフ●ひばり
 - プロコフィエフ●ピアノ・ソナタ 第7番(戦争ソナタ) 変ロ長調 作品83
-

③2台ピアノ 有森 博◆松本和将

- チャイコフスキー/エコノム●組曲 くるみ割り人形 作品71aより
序曲 行進曲 こんぺい糖の精の踊り
ロシアの踊り(トレパーク) 花のワルツ
-

《休憩》

④岩崎 洸(チェロ)◆アニヴァーサリー・オーケストラ◆倉敷管弦楽団

- フォーレ●エレジー 作品24
 - ポッパー●ハンガリー狂詩曲 作品68
-

⑤横山恵子(ソプラノ)◆アニヴァーサリー・オーケストラ◆倉敷管弦楽団

- ブッチーニ●歌劇 蝶々夫人よりある晴れた日に
 - ビゼー●歌劇 カルメンより間奏曲
 - ブッチーニ●歌劇 ラ・ボエームより私の名はミミ
 - マスカーニ●歌劇 カヴァレリア・ルスティカーナより間奏曲
 - ブッチーニ●歌劇 トスカより歌に生き恋に生き
-

⑤岩崎 淑(ピアノ)◆松本和将(ピアノ)◆岩崎 洸(チェロ) ◆アニヴァーサリー・オーケストラ◆倉敷管弦楽団

- サン＝サーンス●動物の謝肉祭

(曲が変更になる場合があります)

● 沢 知恵

Amazing Grace (John Newton:詩/Virginian Melody)

満月の夕 (中川 洋、中川 敬:詩・曲)

こころ (キム・ドンミョン:詩/キム・ソウン:訳/沢知恵:曲)

あなたがいてわたしがいる (山陽放送イメージソング 沢知恵:詩・曲)

死んだ男の残したものは (谷川俊太郎:詩/武満 徹:曲)

一本の鉛筆 (松山善三:詩/佐藤勝:曲)

小さな恋のうた (上江洲清:詩/モンゴル800:曲)

● 4つのロマンティックな小品：ドヴォルザーク(1841～1904 チェコ)

最初は親しい友人のヴァイオリニストとその弟子、ドヴォルザーク自身の3人で弾くための弦楽三重奏曲として作曲されたが、技術的に難しかったため改めてヴァイオリンとピアノ用に編曲された。4つの個性あふれる曲が溶け合う。

第1曲 アレグロ・モデラート

第2曲 アレグロ・ソステヌート

第3曲 アレグロ・アパッショナート

第4曲 ラルゲット

● カルメン幻想曲：サラサーテ(1844～1908 スペイン)

サラサーテは高度な技巧と甘美な音色により名声をかちえたヴァイオリニストでもあった。カルメン幻想曲はツイゴイネルワイゼンと並ぶ代表作で、ビゼーの歌劇カルメンの名旋律を集めて作られたヴァイオリン・ピース。劇的で、情熱的なメロディーが魅了する。

序奏 アラゴネーズのメロディーによる

第1曲 ハバネラのメロディーによる

第2曲 カルメンが第1幕で口ずさむ鼻歌からのメロディーによる

第3曲 カルメンがホセを誘惑するセギディーリヤ(民族舞曲)のメロディーによる

第4曲 快活なジプシーの歌、華々しく技巧的な終曲

● 主よ、人の望みの喜びよ：バッハ(1685～1750 ドイツ)

教会カンタータ147番「心と口と行いと命もて」の中のコラール合唱曲。聖書の「ルカ伝福音書」の第1章に描かれている神の子イエスを身ごもったマリアの喜びが清らかにうたいあげられている。安らぎに満ちた崇高な調べは多くの人に愛されている。

● ヴァイオリン協奏曲 第5番 トルコ風：モーツァルト(1756～1791 オーストリア)

モーツァルトのヴァイオリン協奏曲の最高傑作。特に、フィナーレに突然、東洋風のリズムと旋律が現れる。この部分がトルコ風と呼ばれ作品のタイトルともなっている。ピアノソナタ・トルコ行進曲と同様に、エキゾチックな楽想を巧妙に採り入れたモーツァルトの才能を痛感させる。ヴァイオリン・ソロはアクセントを深く取るなどして陰影や立体感を表情豊かに聴かせてくれる。

第1楽章 対照的な性格を示しながらリズムの要素の濃いふたつのテーマが溶け合う

第2楽章 ヴァイオリンが歌い継ぐ透明で無垢な抒情のみずみずしさが心地よい

第3楽章 標示がアレグレットに変化している中間部分が有名なトルコ風

● 子供の遊び：ビゼー(1838～1875 フランス)

今日残るビゼーの多くはない器楽曲のひとつ。子供の日常の様子を12曲に表した作品。後に、5曲からなる管弦楽組曲が編まれた。ピアノ版は、歌劇カルメンのような濃厚な音楽とは一味違った素朴で機知に富んだ詩的魅力があり、師弟により童心の世界が広がってゆく。

第2曲 こま(即興曲) こまの回る風景

第4曲 木馬たち

第8曲 すみ取り鬼ごっこ(スケッチ)

第12曲 舞踏会(ギャロップ)はしゃぎ、踊り回る子供たちのための舞曲

● ハンガリー舞曲集より：ブラームス(1833～1897 ドイツ)

ハンガリー出身のヴァイオリニスト・レマーニから教えられたジプシー音楽に大きな興味を持ち、その後自らも採譜を行って21曲を作った。ハンガリーの民族舞踊・チャルダッシュのスタイルを生かし、前半の情熱的な序奏、後半の動きの激しい舞曲という緩急のコントラストが聴くものを魅了する。

第1番 憂いを含んだ主題が印象的。アンコールピースとしても人気

第8番 速い動きの差異で対比が形作られている。

第5番 「情熱的な」と指示されたエネルギー的な旋律が特徴的

● **ペール・ギュント組曲 第1番：グリーグ(1843～1907 ノルウェー)**

ノルウェーの伝説的な冒険家、ペール・ギュントの数奇な一生を描いた文豪イブセンの詩劇のために作曲された劇付随音楽。全26曲。後に、各4曲からなる管弦楽組曲が編まれた。

第1曲 朝…朝の暖かい日差しと爽やかな空気がサハラ砂漠に広がる牧歌的な音楽

第3曲 アントラの踊り…族長の娘がペールのために踊る曲。可憐な乙女を思わせる東洋的なマズルカ舞踊

第4曲 山の魔王の宮殿にて…ノルウェーに聳えるドブレ山系に君臨する魔王の娘を誘惑したペールが糾弾される。異形たちの激情で緊張を高めた音楽は最高潮に達したところで断ち切られる

● **序奏とロンド・カプリチオーソ：サン＝サーンス(1835～1921 フランス)**

超技巧演奏で知られるスペインのヴァイオリニスト・サラサーテとの出会いが、サン＝サーンスに数々の傑作を書かせた。この曲もサラサーテのために作られた。曲はアンダンテのメランコリックな序奏部とアレグロ・マ・ノン・トロppoの華やかな主部からなる。ジプシー風のメロディーと大胆で華やかな技巧が楽しめる。

● **ツイガース：ラヴェル(1875～1937 フランス)**

ツイガースは“ジプシーの”という意味。ハンガリーの女流ヴァイオリニスト・グラニーのために作曲された演奏会用狂詩曲。ラヴェルのもつ異国趣味と緻密な作風が見事に融合した作品で、ハンガリーのチャルダッシュにそって技巧的に書かれており、ヴァイオリンが華やかに変化に富んだ活躍を見せる。

● **アルペジオーネ・ソナタ：シューベルト(1797～1828 オーストリア)**

アルペジオーネは1824年、ウィーンで考案された擦弦楽器。チェロよりやや小さめで、6本の弦はギターと同じ調弦。しかし、間もなく使われなくなった。

シューベルトはメロディーにハンガリー的要素を取り入れて明暗の対比を出し、さらに楽器の機能的限界を補うため音程の急速な飛躍や高音域でうたうパッセージを入れた。チェロの演奏には技術的に厄介なソナタだが、自然に呼吸することくうたうシューベルトならではのメロディーが表現される。

曲について

第2部

● **歌劇 劇場支配人 序曲：モーツァルト(1756～1791 オーストリア)**

新作オペラの主役の座をめぐる歌手や俳優たちの騒ぎを描く1幕の喜劇。序曲と4つのナンバーからなる。序曲はこの種の作品には不釣り合いなほど規模が大きく交響曲の冒頭楽章に近い。

● **ヴァイオリン協奏曲 第3番より：モーツァルト(1756～1791 オーストリア)**

優雅で洗練されたフランス風の作曲スタイルを自己の作風に取り込み、活用したことが大きな成果をもたらした。岡山市ジュニオケの先輩と後輩たちが、モーツァルトの青春の甘さと人生終焉の達観とが入り混じった感情を浮き出させる。

第2楽章 甘くなだらかな主要テーマとひとつのエピソードを構成素材にしている。

第3楽章 チャーミングな主要テーマを軸にアンダンテ部分とアレグレット部分が配されている

● **ワルツ 春の声：シュトラウスⅡ世(1825～1899 オーストリア)**

ワルツ王と呼ばれたシュトラウスⅡ世の手になるワルツは単なる3拍子の連続ではなく、様々な幻想を呼び起こすだけの深い情緒が盛り込まれている。踊るための音楽というより優れた描写力を見せつけるワルツでもある。

ソプラノ歌手・ピアニキの委嘱により、独唱付きワルツとして作曲された。

● **桃太郎少年合唱団**

夏の思い出 (江間章子:詩/中田喜直:曲)

ふるさと (高野辰之:詩/岡野貞一:曲)

鳥かもねん勘三郎 (広島地方わらべ歌/間宮芳生:曲)

モルダウ (平井多美子:詩/スメタナ:曲/石桁真礼生:編曲)

今 始まる (門倉 諒:詩/吉岡弘行:曲)

美しく青きドナウ (中山知子:詩/シュトラウスⅡ世:曲)

- 春 第1楽章 ～ヴァイオリン協奏曲・四季：ヴィヴァルディ(1678～1741 イタリア) — 映画 007美しき獲物たち 挿入曲
活気に満ちた春の気配と一緒に花がいっせいに咲き始める。小鳥たちの歌、小川のせせらぎ。しかし春にも暴風雨が襲ってくる。雷と雨は平和的な雰囲気を一瞬のうちに台無しにしてしまう。ロジャー・ムーア最後のボンド役作品。
- 間奏曲 ～歌劇 カヴァレリア・ルスティカーナ：マスカーニ(1863～1945 イタリア) — 映画 ゴッドファーザーⅢ 挿入曲
人妻になっていた元の恋人とよりを戻した男が、その夫に殺されるというシチリアを舞台に男の意地と名誉、女の愛とそのはかなさを描いたこの歌劇は、そのまま映画の主題とみごとにオーバーラップしている。不貞に対する制裁、宿命の結末は娘の死、そのラストシーンに全てを包み込むかのように間奏曲が静かに流れる。
- 皇帝円舞曲：シュトラウスⅡ世(1825～1899 オーストリア) ————— 映画 ラストエンペラー 挿入曲
ドイツとオーストリアの同盟を踏まえて作曲されドイツ皇帝の舞踏会で初演された、まさしくワルツの帝王ともいえる作品。映画は中国清朝最後の皇帝・溥儀の飾り物にすぎないその悲哀を描いた歴史的超大作。音楽の美しさと乖離が悲哀をさそう。
- ホフマンの舟唄：オッフェンバック(1819～1880 フランス) ————— 映画 ライフ・イズ・ビューティフル 挿入曲
詩人ホフマンが自ら体験した3つの失恋物語を歌劇にしたホフマン物語の第2幕で歌われる愛の二重唱曲。映画ではユダヤ人であるがためにアウシュビッツ収容所に収監された主人公の夫が壁一枚隔てた女性棟の妻に向けて、蓄音機で夜空に放った2人の思いでの曲。それを耳にした妻は夫と息子の無事を知り安堵する。
- 2つのヴァイオリンのための協奏曲 第2楽章：バッハ(1685～1750 ドイツ) ————— 映画 愛は静けさの中に 挿入曲
カノン風(同じテーマを追いかけていく)に対話する2つのヴァイオリンの美しさは無限に広がる音のアラベスクとさえ評されている。映画は聾啞の女性と健常の男性教師との恋。2人の生活の中で男性は気遣うことなく聴けるはずだったバッハのこの曲が聴けない。結局2人はすれ違いに終わる。
- 明暗 ～竹籟5章：諸井 誠(1930～)
大阪の尺八名人・酒井竹保の古典本曲演奏の現代的感覚に深く感銘し曲想を抱いた。題名の竹籟は風に吹かれて竹がたてる音。転じて笛の異称である。明暗はタイトルに、尺八とゆかりの深い京都・明暗寺の名を借りたが、曲想の中心、明るい音と暗い音のコントラスト、変化をも表している。(尺八ソロ)
- 弦楽セレナード第2楽章 ワルツ：チャイコフスキー(1840～1893 ロシア)
人生の試練をようやく乗り越えて旺盛な創作活動を再開し始めた40歳の時期の作品。それまでバレエ音楽など大管弦楽による華麗な作品が多かった彼が、敬愛するモーツァルトの作品を研究中に曲想を得て作ったという。曲は鮮やかな色彩と弦楽器特有の抒情性にあふれている。
- G線上のアリア：バッハ(1685～1750 ドイツ)
バッハの管弦楽組曲第3番第2楽章エアーをヴァイオリニストのヴィルヘルミがヴァイオリンの一番低い音のするG線一本だけで演奏できるように編曲したもの。バロック時代のノクターンと呼ばれ、名高い旋律は親しみやすい主題と起伏に富んだ表情を持つ清らかな抒情に満ちている。
- 冬 第2楽章 ～ヴァイオリン協奏曲 四季：ヴィヴァルディ(1678～1741 イタリア)
秋の収穫もすっかり終わって厳しい冬に備える人々。冬の冷たい雨が万物を濡らす物寂しげな冬の日、暖かい暖炉を囲んでほほえましく談笑する楽しい姿がある。美しいメロディーはまさに平和な家族の姿を映し出す。
- 精霊の踊り ～歌劇 オルフェとエウリディーチェ：グルック(1714～1787 チェコ)
ギリシャ神話のオルフェウスが亡き妻・エウリディーチェを冥界にたずねる歌劇。第2幕で踊られる幸福の精霊たちの踊りの音楽にもとづく作品で、原曲では柔らかな弦の響きとたおやかなフルートの旋律が黄泉の国の花園で舞い踊る精霊たちを描写する。旋律の美しさで広く愛され種々の楽器用に編曲されている。
- リベルタンゴ：ピアソラ(1921～1992 アルゼンチン)
Libertad(自由)とTangoとの合成造語。フランスではギイ・マルシャンという歌手が歌詞をつけて歌いヒットした。日本では、ヨー・マの演奏するテレビコマーシャルの音楽としてすっかり知れわたった。1974年アルバムのために作曲された。

●ロッシェニの主題による変奏曲：パガニーニ(1782～1840 イタリア)

鬼神と呼ばれたヴァイオリンの名手パガニーニはその名人ぶりを最大限に発揮するため難技巧のヴァイオリン曲を多数作った。これもそのひとつで、親交のあったオペラ作曲家ロッシェニの作品(歌劇・エジプトのモーゼ)からテーマを借用、ヴァイオリンのための華麗な変奏曲に仕上げた曲が原曲。チェロが流麗なメロディーをうたう。

●アダージョとロンド：ウェーバー(1786～1826 ドイツ)

ドイツの伝統に根ざしたロマン主義オペラを確立したウェーバーの2つのヴァイオリン曲からチェロの巨匠・ピアティゴルスキーが編曲、構成した。アリアを思わせるアダージョ楽章とまるでオペラの最後を飾る躍動感のあるロンド楽章をチェロがあるときは悲哀をこめ、あるときは華やかにうたう。

●夢のあとに：フォーレ(1845～1924 フランス)

フランス近代音楽の開祖的存在・フォーレの最大の魅力である抒情美がみごとに発揮された作品。夢の中で別れた恋人との幸せな思い出に浸るのだが、その夢から覚めたあとのわびしさを綴った歌の内容が、みずみずしい抒情美をたたえたチェロのメロディーにのせられて詩情豊かにうたいあげられてゆく。

●序奏と華麗なるポロネーズ：ショパン(1810～1849 ポーランド)

チェロ・ソナタとともに、ショパンのチェロ曲の双璧として多くのチェリストに愛されている。美しいメロディーと、いっそう華麗なピアノの燦めきの交錯はショパンならではの世界に聴くものを誘ってゆく。チェロはピアノのポロネーズリズムの上のにびやかな主題を出し、ピアノは時としてチェロを乗り越えて絢爛たるパッセージをみせる。そして、チェロはすこぶる魅力的な美しさをもって表情豊かにうたい上げる。

曲について

第3部

●ポロネーズ第6番 英雄：ショパン(1810～1849 ポーランド)

ショパンのポロネーズの中で最もよく知られた作品。やや長めの序奏に続いて主題が力強く現れる。連続するアルペジオのあと決然とした旋律が奏され印象的。やがて主題のポロネーズが堂々と再現され力強く全曲を終える。真のある誇りを持った強さが表現される。

●ノクターン14番：ショパン(1810～1849 ポーランド)

ショパンのノクターンは生前に発表された18曲と死後に出版された3曲の計21曲が残されている。14番はパリ時代の作品で、独特の情感に彩られた主題は少しずつ変化しながら反復されてゆく。ノクターンという言葉の響きはロマンティックな情感をたたえているが、美しいものからしみ出る微細な人間の寂しさや切なさが表現されてゆく。

●メフィストワルツ第1番：リスト(1811～1886 ハンガリー)

文学と音楽が深く結びついた標題音楽を追求したリストが文学的靈感の源泉としたのがファウスト伝説である。ファウストは若さの代償として悪魔メフィストフェレスに魂を売り渡す約束をするが、曲はファウストを情欲の舞踏へ引き込むメフィストフェレスの悪魔性を変化ある曲想で描く。悪魔的で官能的。様々な表情がピアノから見えてくる。

●ひばり：グリカ(1804～1857 ロシア)

グリカは国際的に高い評価を受けた最初のロシア人作曲家で、個性がもっとも表れているのはやはり歌劇作品と歌曲(ロマンス)である。この曲は、ロマンス集さらばベテルブルグの第10曲。詩は「空と大地の間に高らかな歌声が響く。だが歌い手の姿は見えない。……だが歌を受ける人には、送り主が誰かわかるだろう」というもの。

●ピアノ・ソナタ第7番(戦争ソナタ)：プロコフィエフ(1891～1953 ロシア)

第2次世界大戦の最中に作曲された3曲の戦争ソナタの2曲目。近代ピアノ音楽史上の最高傑作で、プロコフィエフの代表作ともなっている。曲は恐ろしいほどに隙のない構造的な強靱かつ凝縮された美観が際立ち、プロコフィエフ一流のダイナミズムが研ぎ澄まされた状態で音に昇華されている。プロコフィエフが開拓した斬新なピアノリズムのアイデアが最高度に示される。

第1楽章 力強いスピード感と圧倒的なエネルギー、ダイナミズムが切迫感を生み出す

第2楽章 暗い情熱をたたえたこの楽章では、美しく厳しいロマンティシズムが息づく

第3楽章 リズミックでスピーディー。エネルギーで興奮したクライマックスを築いて終わる

●組曲 くるみ割り人形 より：チャイコフスキー (1840～1893 ロシア)

クララがクリスマスに買ってもらったくるみ割り人形は夢の中でハツカネズミに襲われるが、傷ついたところをクララに助けられ王子の姿となって彼女をお菓子の国へと誘う。

有森博と松本和将の初めての共演。2人の音楽性がぶつかり合い溶け合う。

小序曲 快活で愛らしい序曲。少しいたずらだが邪気の子供の姿が思い浮かぶ

行進曲 子供たちがツリーの周りを嬉しそうに戯れながら行進する

こんぺい糖の踊り バレエ全曲中で最高の見せ場であるグラン・パ・ド・ドゥ。こんぺい糖の精が踊る幻想的で優美な名旋律。

ロシアの踊り (トレバーク) クララを歓迎するお菓子の国の饗宴の場面で踊られる曲。勇壮な主旋律は徐々にスピードを上げ、踊り手をあおるように盛り上がる

花ワルツ こんぺい糖の侍女たちが華麗に踊るワルツ。色彩豊かで、流麗さに胸がときめく

●エレジー：フォーレ (1845～1924 フランス)

稀代のリリシストでもあったフォーレはチェロの渋く抒情的な持ち味を生かした傑作を多く残している。エレジーはフォーレ特有の深い内省的な情感がもつとも魅惑的な姿で結実した作品といわれ幅広い人気を集めている。悲しみの心の深まりと感情の高揚が感動的。チェロが清らかな美しさを奏でる。

●ハンガリー狂詩曲：ポッパー (1843～1913 チェコ)

ハンガリーで活躍したポッパーは東欧の民族色に満ちた作品を多く書いている。曲は緩・急を交互に置くハンガリー・ジプシーの音楽を生かして、7つの舞曲を巧みに配した変化あふれる作品。最後の部分はリストのハンガリー狂詩曲第6番にも用いられたジプシーの旋律によって圧倒的な盛り上がり築く。

●ある晴れた日に ～歌劇 蝶々夫人：プッチーニ (1772～1815 イタリア)

明治初期の長崎を舞台にアメリカ士官・ピンカー頓の現地妻となった日本人女性・蝶々夫人の純愛と貞節の悲劇を叙情的で劇的なプッチーニ一流のメロディーで描いた歌劇。

曲はピンカー頓の帰りを待つ蝶々さんが、夫が帰った日の丘を上ってくる情景を思い描いて信念を歌う有名なアリア。

●間奏曲 ～歌劇 カルメン：ビゼー (1838～1875 フランス)

竜騎兵ドン・ホセはセビリヤのタバコ工場で働くカルメンと恋に溺れ軍籍まで失うが、カルメンはやがて闘牛士エスカミーリョに心移りする。ホセはカルメンを諦めきれず闘牛場の入り口で彼女を殺すという悲劇。曲は当初アルルの女のため書かれた。ハーブの分散和音のつたフルートの牧歌的な旋律が大変美しい。

●私の名はミミ ～歌劇 ラ・ボエーム：プッチーニ (1772～1815 イタリア)

パリに住む貧乏芸術家の青春の哀歌を自身の体験も加えて詩情豊かに描き、美しい旋律とデリケートな音楽で覆ったプッチーニの最高傑作。詩人のロドルフォから愛の告白を受けたミミが、自分の身の上を語るいかにもミミの控えめな性格を出した平明でリカルな名アリア。

●間奏曲 ～歌劇 カヴァレリア・ルスティカーナ：マスカーニ (1863～1945 イタリア)

題名は田舎の騎士道という意味。シチリア島の村人たちの恋のスクンダルを台本にした歌劇。アルフィオが妻の不倫を知りにわかに切迫した場面に続いて演奏される。激しく盛り上がった雰囲気静める役割を果たす。静けさと清らかさに満ちており、宗教的な感情をふんだんにたたえている。

●歌に生き恋に生き ～歌劇 トスカ：プッチーニ (1772～1815 イタリア)

民族独立運動が高まりつつあった時代の雰囲気甘美な旋律と見事な場面構成で伝えた恋の悲劇で、プッチーニの最もドラマチックで緊迫感あふれる傑作。

政治犯として拘束された恋人を放免する代わりに、貞操を求めて迫る邪悪な警視総監・スカルピア。トスカが絶望の身を神に訴える有名なアリア。

●組曲 動物の謝肉祭：サン＝サーンス (1835～1921 フランス)

動物たちを音で描きあれこれと並べて品定めをする「音の動物園」的作品。一般には子供向けの音楽として人気があるのだが、よく聴いてみると嫌っていた他の作曲家や自分の作品の旋律がこっけいなワルツになったり、おもしろおかしく変形して出てくる。どうやら楽しそうに見せかけながらサン＝サーンス一流の皮肉を込めているらしい。

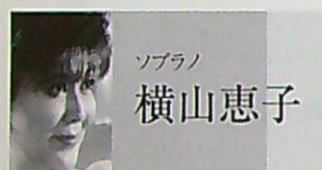
ともあれ、豪華な顔ぶれによる今宵限りの音のワンダーランド、存分に楽しんでください。

コンサート出演者



1967年ミュンヘン国際コンクールで第3位。チャイコフスキー国際コンクール等で伴奏者特別賞等受賞。以来、国内外で著名アーティストと共演の他、20年間にわたり伊シエナで室内楽を教授。国内では「岩崎淑ミュージック・イン・スタイル」を主宰。芸術祭賞。ノルウェー王国功労章叙勲。国際コンクールの審査員、桐朋学園大学院大学教授として後進の育成。

1960年日本音楽コンクール第1位、特賞受賞。米ジュリアード音楽院に留学。その後、ウィーン、チャイコフスキー等国際コンクールに上位入賞を重ねる。芸術祭レコード大賞。マルゴロ、アスペン、ロッケンハウスなど各国の音楽祭に参加、著名オーケストラと共演。米に本拠をおきながら世界各地で活躍の他、米及び桐朋学園大学院大学教授として後進の育成。



1992年「ドン・カルロ」エリザベッタ役でヨーロッパデビュー。96～98年の2シーズンで100回以上「蝶々夫人」「オテロ」等で主役。96年小沢征爾指揮の「蝶々夫人」では、日本でのタイトルロールデビューとなり、ヨーロッパの著名劇場でも大成功。02年日中友好30周年記念「蝶々夫人」(小沢征爾指揮、北京・東京)タイトルロールで大喝采を浴びた。ドイツ在住。

1990年ショパン国際コンクール最優秀演奏賞。その後シドニー、チャイコフスキー等国際コンクールで入賞。これまでに、ラフマニノフのピアノ作品全曲演奏会、プロコフィエフのピアノソナタ全曲演奏会を成功させる等、ロシア作品に積極的に取り組み独自の活動を展開。小沢征爾指揮新日本フィルの他、内外の著名オーケストラと共演を重ねている。



青陵高校在学中の1997年、ホロヴィッツ記念国際コンクールで第3位。98年、東京芸大1年で日本音楽コンクール第1位、5つの副賞受賞。01年ブゾーニ国際コンクール第4位。03年エリザベト王妃国際コンクール第5位。国内外で活発なソロ活動を続ける一方、内外の著名オーケストラと共演。ベルリン芸術大学に留学中。

くらしき作陽大特任教授。1989年パガニーニ国際コンクールに入賞。94年チャイコフスキー国際コンクール最高位。ロシア、ヨーロッパ、日本でソロ活動の他著名オーケストラと共演。ロシア国家から特別貸与されたストラディヴァリ Zubowsy(1729)を愛用。

ヴァイオリン
アナスタシア・
チェボタリョワ



ピアノ弾き語り

沢 知恵

日本、韓国、アメリカで育つ。東京芸大在学中シンガーソングライターとしてデビュー。1998年韓国で戦後初めて日本国籍の歌手として日本語で歌い話題になる。日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。山陽放送イメージソング「あなたがいてわたしがいる」を作詞作曲。

都山流大師範。海外からの招聘公演も多数。純邦楽演奏会の他、フラメンコ、ジャズバンド、オーケストラとのコラボレーションも積極的に開催。邦楽と現代音楽との融合をめざして活躍中。

尺八

田辺 洌山



ピアノ

新谷 祐子

オランダミュージックセッション等に参加の他、国内では岩崎淑・岩崎洸企画開催の「沖縄ムーンビーチ・ミュージック・キャンプ&フェスティバル」「沖縄国際音楽祭」等に参加。室内楽を中心に活躍中。

1997年日本クラシック音楽コンクールで審査員特別賞。2002年マルシュナー国際コンクール第2位。03年シュポア国際コンクールでバッハ賞受賞。岡山市ジュニアオーケストラ出身。現在、東京芸大2年生。

ヴァイオリン

守屋 剛志



ヴァイオリン

黒川 侑

2001年全日本学生音楽コンクール小学生の部で第1位、4つの副賞受賞。02年日本クラシック音楽コンクール中学生の部第1位。03年ドイツ国際ヴァイオリンコンクール・ジュニアで2位。



岡山市ジュニア・
オーケストラ

1965年結成。巣立った団員は1千数百人。全国のジュニオケとの交流演奏を行う一方、岡山市の姉妹都市、アメリカ・サンノゼや韓国・プチョンのオーケストラなどとも交流演奏会を重ねる。

指揮者	オーボエ	ホルン	ヴァイオリン
大塚 博	上田美佐	田中祐子	佐藤圭子 入江洋文
ファゴット	トロンボーン/バスチューバ	チェロ	コントラバス
小野エリコ	日生貴之	半田ひろ美	嶋田真志

フルート

近藤舞衣(高3) 原田悠加(高2) 長寿茉美(中3)

オーボエ

仲村美紀(大2) 馬屋原 梓(大2) 原田弥佳(中2)

クラリネット

高山由華(高1) 萱嶋結衣(高1)

ファゴット

津田麻衣子(高2) 見垣佑介(中1)

ホルン

藤雄万里衣(高1) 浅浦可奈(中2)

トランペット

出射直子(大2) 土佐恵里佳(中3) 黒住小百合(中3) 津田悠生(中3) 藤田元樹(中3)

バスチューバ

三宅聡子(中3)

打楽器

港 菜都子(高1) 谷田明代(中3) 金原 俊(中3)

ヴァイオリン

多屋 慧(高2) 長家千夏(高2) 貝畑あかね(高1) 岩藤博紀(中3) 阿部桃子(中2)

太田千瑛(中2) 原 亜緒衣(中2) 假谷成未(中1) 長塩貴史(中1) 白石冴子(中1)

矢木紀子(小6) 三牧夏実(小6) 假谷彰文(小5) 竹林恵理(小5) 井上端菜(小5)

大西ちひろ(小5) 木村恵理子(小5) 綱島安望(小4)

ヴィオラ

仲田奏和(高1) 荒江祥永(高1) 定金晶子(高1) 景山 奏(中3) 松井大侑(中2)

山本隆太(中2) 小西果林(小6)

チェロ

井伊 準(高2) 佐々江晶子(高2) 長家万純(中2) 大森美紗子(中2) 藤原歩美(中1)

コントラバス

片山 恵(高2) 栢野雅行(高2) 井本 梓(高2) 染谷あかり(高1) 福田恵理(中3)

ハーブ

景山 郁(中2)

倉敷アカデミー・
アンサンブル

1994年、倉敷市周辺の若手音楽家で結成。著名ソリストを迎えて年1回定期演奏会を開く他、ニュージーランドや中国でも定期的に交流演奏会を開催。また、音楽療法にも積極的に取り組む。常任指揮者・江島幹雄

ヴァイオリン

安藤 律子 奥田京子 河野園子 丹野 薫 藤原加奈
山田明子 安永暁子 渡辺利歌 佐藤圭子 山中恵理子

ヴィオラ

大道真弓 大森三鈴 原口陽子 南 徹志

チェロ

安藤満里子 小川照夫 山本玲子

コントラバス

林 環 藤井啓輔

オーボエ

管付章宏 横田幸恵

ホルン

宇野敏生 奥村邦子

桃太郎
少年合唱団

1964年岡山国体を機に三木行治知事の提唱により結成。年1回の定期演奏会の他、ウィーン、シドニー、中国・洛陽などで交流演奏会を開催。03年サントリー地域文化賞を受賞。団長(指導): 棚田国雄(岡山大卒、文部大臣表彰等)

指揮

ピアノ

棚田国雄 重元千枝 犬飼里余子

小林 学(中1) 大亀弘貴(中1) 宮本 直(中1) 山口 奨(中2) 小倉 薫(小6)
鶴田康仁(小6) 永谷真基(高2) 音森一輝(中1) 本倉一樹(中1) 寺尾 拓(小6)
富田 周(小6) 虫明伸浩(小6) 大西央訓(小5) 山崎裕也(小5) 小西謙太(中1)
西山孝文(中1) 小田久幸(中1) 田中一輝(中1) 山内尊志(小6) 岩崎匡紘(小6)
富山敬介(小5) 春日海秀(小5) 中田智大(小5) 合内 昂(小5) 苅田卓郎(小5)
中原 蛍(小5) 田中孝明(小5) 佐藤優人(小4) 溝渕正吾(小4) 中西隼也(中1)
光宗 翔(小6) 吉田琢馬(小6) 福崎 裕(小6) 松岡佑記(小6) 中村友哉(小5)
吉原貴裕(小5) 吉田伊織(小4) 鈴木 朝(小3) 中井大輔(小6) 石部裕義(小5)
伊丹清貴(小5) 榎本一輝(小5) 藤下真一(小4) 野上将吾(小4) 光畑順平(小4)
横山知樹(小4) 水門博一(小3) 白井健太郎(小3) 小野田康佑(小3) 白神達也(小2)
春日紫吹(小2) 何本佑太(小2)

岡フィル・
弦楽アンサンブル

岡山フィルハーモニック管弦楽団のトップメンバーによる弦楽アンサンブル。岡フィルは内外のトップアーティストと共演する一方、スクールコンサート等地域に根ざしたオーケストラとして活動中。

第1ヴァイオリン

第2ヴァイオリン

ビオラ

チェロ

コントラバス

上月 恵 近藤浩子 杉山みゆき 山本栄子 嶋田真志

ピアノ

難波香子

アニヴァーサリー・
オーケストラ
倉敷管弦楽団



チャリティーコンサート“岡山からのメッセージ『救え!戦場のこどもたち』”のための特別編成。1974年結成された倉敷管弦楽団メンバーと一般公募したアマチュア演奏家で編成。団長:田辺幹夫

常任指揮者	ソロコンサートマスター	コンサートマスター	アシスタント コンサートマスター	
菊池 東	佐藤真理子	阿曾沼和代	岡崎良弘	
第1ヴァイオリン				
佐藤真理子	阿曾沼和代	大森彩子	木村啓子	陶山靖彦
出宮治子	平松鋭子	藤田真理	丸山博樹	柳井典子
第2ヴァイオリン				
岡崎良弘	荒木幸治	井上真由美	井上雄史	上原保美
大村奈美	尾崎夏栄	千田美幸	三宅郁子	村上節美
ヴィオラ				
武本克己	岩瀬裕子	片山佳央理	小寺陽子	新見由枝
藤井祥子	松江靖子	八木原周平		
チェロ				
栗木由美子	大西智幸	黒田正典	田中光子	田辺幹夫
西田毅雄	日野加奈子	小笠原純子		
コントラバス				
本屋敷勝信	磯見裕子	羽原佳子	平松博之	松本高広
フルート				
市瀬純子	月本裕子	宮尾紀子		
オーボエ				
細美 肇	西村生子	松浦友美		
クラリネット				
福島恭子	大尾 聡	田辺徳恵		
ファゴット				
北村直也	見垣佑介			
ホルン				
熊澤和美	大島賢治	澤田秀実	小宮健志郎	
トランペット				
原田宗範	下江一朋			
トロンボーン				
三瀬昌徳	曾布川拓也	光井伸行		
打楽器				
日下明子	高尾暢子			



50 RSK
創立50周年

山陽放送株式会社 岡山市丸の内2丁目1-3
tel 086-225-5932 fax 086-225-2686